

# 長崎派遣の報告



被爆クスノキ

ここでは、平成28年12月4日（日）の平和の集いで、派遣中学生たちが行った派遣報告をもとに、長崎派遣について報告します。

## 【報告概要】

- 派遣に向けて
- 第1日目
- 第2日目
- 第3日目
- 長崎派遣中学生 平和宣言



## 長崎派遣中学生メンバー

我孫子中学校	原 直輝	額賀 美羽
湖北中学校	早坂 弘宇	松澤 玲奈
布佐中学校	藤野 浩明	石嶋 心愛
湖北台中学校	松下 大希	中村 咲希
久寺家中学校	齊藤 寛人	佐口 未来
白山中学校	白杉 快	高城 華織



派遣団 団長  
湖北中学校  
早坂 弘宇さん

みなさん、こんにちは。

私たちは8月に長崎に行き、71年前に起きたことについて、様々なものを見て、聴いて、肌で感じとってきました。

私たちが長崎で体験し感じたこと、考えたことをみなさんにお伝えします。

そしてみなさんのご家族の間や学校で、平和について考え、語り合う機会ができ、そのことが少しでも平和への道につながるものになればうれしいです。

それでは、今回派遣に参加したメンバーを紹介します。

派遣に向けて

長崎派遣までと  
長崎での活動について  
の報告

市長・教育長 表敬訪問



長崎派遣までと長崎での活動についての報告です。  
私達の、平和のために何ができるのかを考える旅は、7月29日、  
私達12人が、星野市長と倉部教育長を表敬訪問することから始  
まりました。

派遣団 団長 湖北中学校 早坂 弘宇さん

市長・教育長 表敬訪問



市長・教育長 表敬訪問



市長、教育長の前で、長崎派遣での目標を1人1人発表しました。  
私は「今回の長崎派遣を通して、見て聞いて感じた事を1人でも多  
くの人に伝えられるよう頑張りたいです。」という目標を持ちまし  
た。

湖北中学校 松澤 玲奈さん

僕は、「原爆投下直後の悲しみだけではなく、そこからどうい  
う思いで復興していったのかを知る。」という目標を持ちました。



久寺家中学校 齊藤 寛人さん

### 市長・教育長 表敬訪問



### 市長・教育長 表敬訪問



派遣団 団長  
湖北中学校

早坂 弘宇さん

星野市長・倉部教育長から、今回の長崎派遣中学生の役割の話と激励の言葉をいただきました。

それから一緒に長崎に派遣される他の学校の代表と顔合わせをし、とても緊張しました。

また、僕は団長務めさせていただくこととなり、大きな責任と団長としての仕事がしっかりと果たせるか心配でしたが、星野市長や倉部教育長からの言葉を受け、とても安心することができました。

## 7月29日（金） 事前説明会・事前学習会、市長・教育長 表敬訪問

### （1）事前説明会

- ・開会
- ・派遣中学生・引率者の紹介
- ・派遣行程の説明、派遣における注意事項など
- ・団長、副団長の決定

### （2）事前学習会

- ・平成24年度長崎派遣中学生による派遣の事前アドバイス
- ・我孫子市原爆被爆者の会（宮田会長、的山さん）からの話
- ・意見交換

### （3）市長・教育長 表敬訪問

- ・派遣中学生自己紹介と決意表明
- ・市長、教育長からの激励の言葉
- ・懇談



表敬訪問の前には事前説明と事前学習会が行われました。  
ここで長崎派遣の目的と、活動内容についての説明を受けました。



派遣団 副団長 布佐中学校 藤野 浩明さん



布佐中学校  
石嶋 心愛さん

事前学習会では、派遣中学生 OG の小谷さんと川合さんが、自分の経験をもとに、アドバイスを含めながら、派遣に臨む心構えなどを話してくださいました。私は、この体験を聴き、私も平和の大切さ、命の尊さを伝えたいと強く思いました。



久寺家中学校  
齊藤 寛人さん

我孫子市原爆被爆者の会的山さんが、ご自身の体験を話してくださいました。ご自分が胎内被爆をしたこと、お母様が原爆によってどんな苦しみを経験したかということ、それでも様々な困難を乗り越えて、生きてこられたことなどを話してくださいました。当時被爆された方々が、差別や後遺症などの苦しみにあっていることを知り、とても悲しいことだと思いました。また、昨年お亡くなりになった我孫子市原爆被爆者の会前会長の大久保さんが今年の長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典で原爆死没者名簿に載り、その名簿が奉納されることについて話してくださいました。

第1日目

出発の会(けやきプラザ前)



出発の会(けやきプラザ前)



出発の会(けやきプラザ前)



我孫子から長崎へ



我孫子中学校  
原 直輝さん

8月8日朝、けやきプラザ前に集合しました。校長先生、担任の先生、生徒会担当の先生方、市役所や教育委員会の方々が見送りにきてくださいました。

見送りに来てくださった方々に、出発の挨拶をし長崎に向かいました。私達は、今回の長崎派遣で原爆がもたらした被害を知る事を通して、「平和とは何か」、「平和な世界にしていくなために何ができるのか」、自分の考えを持って帰ってきたいと思いました。また、学校の代表として頑張っていこうと思いました。

空港に着き、飛行機に乗り込んだ時、「これから長崎に行き、平和についてしっかり学んでくるんだ」という気持ちが湧いてきました。

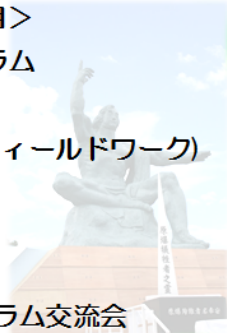
### 長崎でのスケジュール

<8月8日(月) 第1日目>

#### 1 青少年ピースフォーラム

- ・開会行事、講話
- ・コース別平和学習(フィールドワーク)
  - ①平和公園コース
  - ②浦上天主堂コース
  - ③山王神社コース

#### 2 青少年ピースフォーラム交流会



### 長崎でのスケジュール

<8月9日(火) 第2日目>

#### 3 千羽鶴奉納

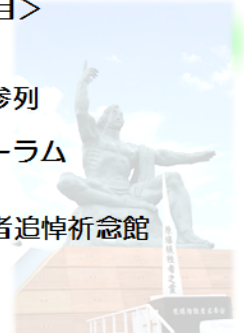
#### 4 平和祈念式典への参列

#### 5 青少年ピースフォーラム

- ・意見交換会

#### 6 国立長崎原爆死没者追悼祈念館 原爆資料館の見学

#### 7 稲佐山の夜景見学



久寺家中学校  
佐口 未来さん

長崎での活動スケジュールはこのようになっていました。

青少年ピースフォーラムは、8月8日と9日の2日間にわたって開催されました。

初日は、参加者・ボランティアが一同に会した開会行事があり、その後、3コースに分かれての平和学習が行われました。

2日目の午前中は、平和祈念式典への参列、午後は青少年ピースフォーラム平和学習で意見交換会が行われました。その後は、資料館などの見学を行いました。

3日目の午前中は、グラバー園の散策・大浦天主堂の見学をし、午後長崎をあとにしました。

### 長崎でのスケジュール

<8月10日(水) 第3日目>

#### 8 グラバー園散策 大浦天主堂見学



### 青少年ピースフォーラムへ参加していた自治体

- \*北海道...函館市、旭川市
  - \*青森県...青森市
  - \*宮城県...気仙沼市、登米市、美里町
  - \*福島県...郡山市、いわき市、南相馬市
  - \*茨城県...つくば市、龍ヶ崎市
  - \*神奈川県...藤沢市
  - \*千葉県...我孫子市、松戸市、浦安市、富里市、成田市
  - \*東京都...品川区、港区、板橋区、新宿区、千代田区、多摩市
  - \*岐阜県...美濃加茂市
  - \*静岡県...焼津市
  - \*愛知県...岩倉市
  - \*京都府...福知山市、宇治田原町
  - \*愛媛県...西予市
  - \*宮崎県...日向市
  - \*福岡県...北九州市
  - \*沖縄県...北谷町、宜野湾市、那覇市、石垣市、糸満市、浦添市、北中城村、中城村
- <16都道府県、39自治体の参加>



青少年ピースフォーラムに参加していた自治体は、地元の長崎市を除くと39の団体でした。北は北海道、南は沖縄県石垣島からと、全国から集まっていました。参加人数ははっきりとはわかりませんでした。おおよそ500人の人たちが参加していました。



湖北台中学校 松下 大希さん

# 青少年ピースフォーラム1日目

～開会行事・被爆体験講話～



湖北台中学校  
松下 大希さん

長崎での最初の活動は、青少年ピースフォーラムへの参加でした。地元の高中生や大学生が、私達のような各自治体を代表して派遣された小中学生、高校生をリードし、平和に関する学習をサポートしてくれました。

## 青少年ピースフォーラムへの参加



## 長崎市長のあいさつ



## 1. 被爆体験講話 永野悦子さん



最初は、長崎市長のあいさつから始まりました。

長崎市長のご挨拶のあと、16歳で被爆体験をした永野悦子さんの体験の話がありました。

永野さん自身も被爆しましたが、弟も全身大やけどをし、防空壕で倒れているところを永野さんとお父さんが発見したそうです。お父さんは弟の名前を呼び、すぐに病院に運ぼうとしましたが、身体の皮膚がペロッとはがれ、お父さんの手にくっついてきたそうです。実際に被爆された方の体験談は、生々しく衝撃を受けました。お父さんが弟を病院に運び、全身に薬を塗ってもらいましたが、3日後に亡くなったそうです。

永野さんの妹は原爆の後遺症に苦しみ、「痛い、痛い」とあえぐように叫び続けて1ヶ月後に亡くなりました。



我孫子中学校  
額賀 美羽さん



## 1. 被爆体験講話 永野悦子さん



被爆者の永野さんの話は、当時の悲惨な様子を表していました。とても悲しく辛い話でした。

疎開先から弟と妹を連れて帰ってきたことで、その弟と妹が被爆して亡くなってしまいました。

亡くなった身内を自分の手で火葬しなければならないということも、想像しがたい状況でした。

疎開先から連れて帰ってきたことは、一緒に暮らせない苦しみがあったからこそその行動だったと思いますが、そのことを、ずっと後悔しながら生きていかなければならない、そんな苦しみを生んだ原爆のひどさ、非人道さを感じました。

永野さんの、「まず、隣の人と仲良くし、学校の友達と仲良くし、社会に出ても仲良くし、自分のできることを一つ一つ精一杯行うことや、みんなと仲良くすることが、平和にとっての大きな一歩となる。みなさんは、この戦争をいつまでも語りついでください。」という言葉が印象に残りました。



白山中学校  
高城 華織さん

◎永野 悦子（ながの えつこ）さん 被爆当時16歳・女性

1945年8月9日、学徒動員として勤務中に、16歳で被爆。自宅は全焼し、戸外にいた9歳の弟は、全身火傷のため、3日後に死亡。自宅で被爆した母と妹は原爆症に苦しみ、母は一命を取り留めたが、13歳の妹は苦しんだあげく、1ヶ月後に死亡。生き残った者たちの、怒り・悲しみ・寂しさを伝えたい。この目で見た原爆の恐怖、そして悲惨さを語ることによって、平和の尊さを訴え続けていきたいと思う。【(公財)長崎平和推進協会ホームページより】

～各班に分かれてフィールドワーク～

①平和公園コース 原爆落下中心地碑 — 浦上天主堂遺壁 — 被爆当時の地層 — 下の川 — 平和の泉 — 各国のモニュメント — 長崎刑務所浦上刑務所跡 — 平和記念像 —



湖北中学校  
松澤 玲奈さん

「平和の泉」が印象に残りました。喉が乾いているけれど水の上には油のようが浮いていたけれど生きる為に飲んだ。と書かれていたり、地面の様子は火のイメージなどがかかっていた。



平和祈念像には、平和を世界に伝える気持ちが込められています。天を指す右手は、原爆の恐ろしさ、左手は平和、軽く閉じた目は、黙禱を意味しています。この記念像があるからこそ、「平和は長崎から」と発信できるのだなと感じました。



我孫子中学校  
原 直輝さん

◎派遣中学生からのワンポイント報告（我孫子中 額賀さん）

原子爆弾落下中心地は、上空500mで昭和20年8月9日11時2分に原爆が爆発した場所です。当時の地表は3000℃～4000℃で、太陽の黒点と同じくらいの温度でした。中心地碑にある奉安箱には、亡くなられた方の名簿が入っています。



◎派遣中学生からのワンポイント報告（白山中 白杉さん）

「被爆当時の地層」は原爆落下時の長崎の状態をそのまま見ることができます。お茶わんや溶けたガラスなどが、人々の生活の様子を表しています。原爆によって一瞬で生活が壊されてしまった悲しみを感じました。



②浦上天主堂コース 浦上天主堂 — 鐘楼ドーム — 原爆落下中心地碑  
— 浦上天主堂遺壁 — 下の川



湖北台中学校  
松下 大希さん

私が一番印象に残ったことは、原爆落下中心地碑です。  
71年前、この上空約500mで原爆が爆発しました。  
地面の温度は、3000~4000℃にもなったといいます。ガイドさんの話を聞いて、原爆の破壊力や恐ろしさを知ることができました。この、原爆落下中心地碑を通し、核なき世界を強く願うことができました。



▲原爆落下中心地碑に  
黙とうする派遣中学生



私は、浦上天主堂とその上に乗っている鐘楼ドームが印象に残りました。  
浦上天主堂の正面には、「悲しみの聖母マリア像」と「死と生のヨハネ像」が、爆風で指や鼻が欠けて、立っています。  
爆風の強さと、恐ろしさがわかりました。教会自体は再建され、きれいでした。



白山中学校  
高城 華織さん

◎派遣中学生からのワンポイント報告（布佐中 藤野さん）

原爆落下中心地碑の下を流れる「下の川」という川は、原爆落下時、多くの方が亡くなっていました。私たちが訪れた8月8日、9日は、平和を願う子どもたちの絵がたくさん貼ってありました。長崎の若い世代の思いを感じました。



◎派遣中学生からのワンポイント報告（久寺家中 佐口さん）

「鐘楼ドーム」は原爆によって破壊され、北側にあった鐘楼が天主堂の下にまで崩れ落ちたものです。鐘楼は、大人の何倍の大きさがあり、こんなにも大きく重いものが飛ぶなんて原爆の威力は改めてすさまじいと感じました。



③山王神社コース 長崎医科大学付属医院 — 旧正門門柱

— 配電室（ゲストハウス） — 二の鳥居（一本柱鳥居） — 被爆クスノキ



派遣団 団長  
湖北中学校  
早坂 弘宇さん

僕が印象に残ったことは、「二の鳥居（一本柱鳥居）」です。この鳥居の半分は、強い原爆の爆風によって吹き飛ばされました。実際に鳥居の半分があった場所に立ってみたところ、今残っている鳥居の向きが、元の向きからずれていることがはっきりと分かってとても驚きました。



僕がこのコースの中で一番印象に残ったのは、爆風によって傾いてしまった長崎医科歯科大学の旧正門門柱です。なぜなら、これほど重い物が動いてしまうとは、思っていなかったからです。旧正門門柱は、石なのでとても重いのですが、原爆により、拳二個分ぐらい前に傾いて、原爆がすごいと確認したからです。



久寺家中学校  
齊藤 寛人さん

◎派遣中学生からのワンポイント報告（布佐中 石嶋さん）

長崎医科歯科大学付属医院は爆心地600mにある鉄の建物です。原爆投下時、爆風による凄まじい強さで898人の犠牲者を出しました。モニュメントの横には898人の氏名が刻まれた鉄板が設置されています。



◎派遣中学生からのワンポイント報告

（湖北台中 中村さん）

被爆クスノキは、原爆の熱線や爆風によって枝や葉が吹き飛ばされ一時は枯死寸前と思われましたが、現在では復興してきています。いまでも平和や再生の象徴として人々に親しまれています。





平成24年度派遣中学生が  
山王神社のクスノキの苗木を植樹



平成24年度派遣中学生が  
山王神社のクスノキの苗木を植樹



布佐中学校  
石嶋 心愛さん

平成24年、当時の派遣中学生が、我孫子市平和祈念式典のあと長崎市からいただいたクスノキの苗木を手賀沼公園に植樹しました。現在も立派に大きくなってきています



平成24年度派遣中学生が  
山王神社のクスノキの苗木を植樹

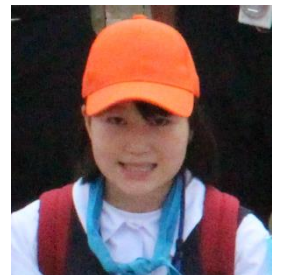


2. 青少年ピースフォーラム交流会



2. ピースフォーラム交流会

青少年ピースフォーラム交流会では、各グループに分かれ食事をとりながら、今日、自分達が長崎で思ったことなどを話し合いました。



湖北中学校 松澤 玲奈さん